おちんちん丸出しの男子の身体検査を記録する、女子保健委員の話

俺が中学2年生のときの健康診断は、今でも思い出すだけで腹が立って、顔が熱くなって、股間がむずむずするような、クソみたいに恥ずかしくて悔しい記憶だ。

あの学校の脊柱側弯症検査は、先生が直接背骨を指でなぞって診る古い方式だった。身体測定と一緒にやるから、男子は体操着の短パンとパンツを膝まで下ろして、前屈みになるしかない。当然、チンポもキンタマも陰毛も全部丸出し。

一応、男子の検査と女子の検査は別々だった。でも、記録係として保健委員の女子が2人、保健室の中に残ってるんだよ。しかもその2人、同じクラスの鈴木美咲と高橋あかり。クラスで一番可愛いって言われてる美咲と、胸がでかくて男子の視線集めてるあかりだ。身長とか体重とかをノートに記録する役目。距離なんて1メートルもない。俺たちがチンポ出して前屈してるすぐ横に、クラスメートの女子が普通に座ってるって、頭おかしいだろ。

俺の番が近づいてきて、心臓がドクドク鳴ってた。前の健太がパンツ下ろした瞬間、美咲が「あっ……」って小さく声漏らして、慌ててノート見て

るふりした。でもすぐにまた横目で健太の股間チラチラ見て、唇噛んで顔真っ赤。ペン持ってる手が震えてるのが見えた。あかりは「あ……うわ」って呟いて、口を手で押さえてたけど、指の隙間からガン見。耳まで真っ赤になってる。